

## 生徒指導提要の改訂を踏まえた今後の生徒指導について

第1回村山地区協議会 6月1日(木) 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 高橋 典久 氏

近年児童生徒の生徒指導上の諸課題は、全国的に増加・深刻化しています。それに伴い、「生徒指導提要」が12年ぶりに改訂されました。「生徒指導提要」は、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書です。今後の生徒指導を実践する上で、理解を深める必要があります。

### 1 生徒指導の実践上の視点について

◇生徒指導の目標達成に向け「自己指導能力」を身に付けることが重要です。「自己指導能力」とは、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力です。これまでの「させる」生徒指導ではなく、「自己指導能力」の獲得を「支える」生徒指導では、以下の実践上の視点が大切です。

- (1) 自己存在感の感受**  
「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感する
- (2) 共感的な人間関係の育成**  
自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる共感的な人間関係を創る
- (3) 自己決定の場の設定**  
自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験を充実させる
- (4) 安心・安全な風土の醸成**  
児童生徒一人一人が、個性的な存在として尊重され、学級・ホームルームで安全かつ安心して教育を受けられるように配慮する

### 2 生徒指導で授業を変える

今までしていた学習活動も  
生徒指導であることを意識する

授業の中に4つの実践上の視点を意識した  
働きかけを意図的に組み込む

## 教師の言動や姿勢が変わる！

#### まなざしが変わる

この場面(活動)は、  
あの子が活躍できそうだと話し合いを上手に  
進行している子がいるぞ  
あの子は結果は出てないけど、  
いつも頑張っているなあ

#### 声かけが変わる

「拍手が自然に起きていて  
とても素敵です」  
「間違いがあったからこそ、  
考えが深まったね」  
「役割はメンバーで  
話し合って決めてね」

#### ふるまいが変わる

全員が応答できる発問を  
必ず一つは入れる  
みんなに気遣いができた  
進行役をねぎらう  
生活ノート(連絡帳)に  
よかったところを書く

温かいまなざし・声かけ・ふるまい等の積み重ねで

## 子供の自己指導能力が育つ！

参考：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター総括研究官 高橋 典久氏作成資料

### 3 参加者より

- 「生徒指導」という言葉のイメージそのものが変わりました。自分が日頃どれだけ生徒のことを理解しようと努めているかが生徒の姿や言動に表れているのだと思います。
- 日々の教科指導の中で、4つの視点を意識して授業構成をすることで、生徒にとっても我々教員にとっても魅力ある学校づくりに繋がると感じました。
- 「させる」生徒指導から脱却し、「支える」生徒指導を行いながら、自己指導能力を育成することが大事だと感じました。

## 第1回地域とともにある学校づくり研修会 6月12日(月)

皆川雅仁氏(秋田県生涯学習センター主査 兼 社会教育主事)より、昨年度に引き続き講話をいただきました。コミュニティ・スクール(CS)となった学校が、子供たちの豊かな成長という目標を地域と共有し、「地域とともにある学校」として相互にパートナーとして歩もうとする時、その歩みを強力に支えるのが熟議です。実践に裏打ちされた皆川氏の熱い講話に参加者も聴き入っていました。

### 研修① 講話「地域とともにある学校づくりを推進する熟議の意義～『熟議』は学校づくり・地域づくりの潤滑油～」

- “協働”とは、共有された目的に向かって、各々の役割を各々のタイミングで、対等な立場で果たすことである。支援から連携へ、そして協働へと教育活動の質的転換を図る必要性が高まっている。
- これからの学校は、地域の力を活用するのではなく、地域とともに子供たちに必要な学びを提供していくことが重要である。「社会に開かれた教育課程」の実現に最適のシステムがCSであり、その推進に熟議は必需品である。

### 研修② 模擬熟議「地域と学校の連携・協働で目指すもの」

- 「学校運営協議会＝熟議」ではない。熟議とは、学校や地域が目指す方向性を共有したい時や、学校運営協議会で話題になったことに対する意見をより多くの人々から集めたい時に実施し、自分事意識を醸成しながら地域学校協働活動を推進したり、社会に開かれた教育課程につなげたりする話し合いの手法である。

### 【参加者の声】

- 熟議を体験して、やる前とやった後で参加者の雰囲気がガラリと変わったことに驚いた。これを積極的に取り入れることで同じ方向を向けるということにも納得した。
- 熟議を体験することで多くの学びを得ることができました。答えを出すことを急いでしまいがちですが、横並びで意見の交換ができる熟議を実践していきたいと思えます。



## MYボランティア スタートアップセミナー



令和5年度地域青少年ボランティア活動推進事業

会場：イオンモール天童

6月20日(火)に村山地区の中学生を対象に、「MYボランティアスタートアップセミナー」を開催しました。総勢75名が参加し、ボランティアの意義や実技を学びました。

### 参加者の感想



～新たな出会い～

- ボランティアのことをよく知ることができ、誰かのためになりたいという気持ちが深まった。
- 誰かのためにすることは、いつか自分のためにつながってくると思った。ボランティアに対する思いが高まった。
- バルーンアートの他にも皆を喜ばせることができるような活動がないかを調べたり考えたりして、これからのボランティアに参加したい。
- 自分の地域にもボランティアサークルがあったことを知ることができたとともに、自分でも人のために何かができるならやってみよう。



～かかわり、つながる～

### <お詫びと訂正について>

所報「E-NEWS むらやま 255号」におきまして、下記の通り、一部誤りがありました。申し訳ありませんでした。

### 第67回 山形県縦断駅伝競走大会 第26区

チーム	所属校
天童・東村山	(誤) 天童三中 → (正) 天童四中

MY (Murayama Young) ボランティアの仲間が、このセミナーで出会い、かかわり、つながりの中で学んだことを通して、ボランティアの新たな一歩を進めようとする姿が見られました。参加した皆さんが様々な場で力を発揮し、活躍することを期待します。